場合の数で 求める ドリル③

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目8 ③（数える・逆向き）／目標 12分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・「起こらない確率・少なくとも」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。
大問1は、全部の 場合の数・反対の 事柄の 場合の数・確率（約分した 分数）を 四角に 書く。
・大問2・3は、確率を 約分した 分数で 四角に 書く。

大問1 場合の数を 数えて 求める

(1) 女子 3人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。
少なくとも 1人は 女子が 選ばれる 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 ［　　］ 通り　反対の 事柄 ［　　］ 通り　確率 ［　　］

(2) 当たりくじ 1本と はずれくじ 5本が 入った 箱から、同時に 2本 引く。
少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 ［　　］ 通り　反対の 事柄 ［　　］ 通り　確率 ［　　］

(3) 赤玉 3個と 白玉 4個が 入った 袋から、同時に 2個 取り出す。
少なくとも 1個は 赤玉を 取り出す 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 ［　　］ 通り　反対の 事柄 ［　　］ 通り　確率 ［　　］

大問2 確率から 確率を 求める

(1) 赤玉と 白玉だけが 入った 袋から 玉を 2個 取り出す とき、少なくとも 1個は 赤玉を 取り出す 確率は $\frac{7}{9}$ です。
2個とも 白玉を 取り出す 確率を 求める。　確率 ［　　］

(2) 大小 2つの さいころを 投げる とき、目の 和が 9に ならない 確率は $\frac{8}{9}$ です。
目の 和が 9に なる 確率を 求める。　確率 ［　　］

(3) ある チームが 試合に 勝つ 確率は $\frac{5}{12}$ で、引き分けは ありません。
負ける 確率を 求める。　確率 ［　　］

大問3 重なる 事柄

(1) 大小 2つの さいころを 投げる。
少なくとも 一方は 3の 倍数の 目が 出る 確率を 求める。　確率 ［　　］

(2) 大小 2つの さいころを 投げる。
少なくとも 一方は 3の 目が 出る 確率を 求める。　確率 ［　　］

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

場合の数で 求める ドリル③【こたえ】

中2／ドリル 項目8 ③（数える・逆向き）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 場合の数を 数えて 求める

(1) 女子 3人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。
少なくとも 1人は 女子が 選ばれる 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 **15** 通り 反対の 事柄 **3** 通り 確率 **$\frac{4}{5}$**

(2) 当たりくじ 1本と はずれくじ 5本が 入った 箱から、同時に 2本 引く。
少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 **15** 通り 反対の 事柄 **10** 通り 確率 **$\frac{1}{3}$**

(3) 赤玉 3個と 白玉 4個が 入った 袋から、同時に 2個 取り出す。
少なくとも 1個は 赤玉を 取り出す 確率を、反対の 事柄の 場合の数を 使って 求める。

全部 **21** 通り 反対の 事柄 **6** 通り 確率 **$\frac{5}{7}$**

大問2 確率から 確率を 求める

(1) 赤玉と 白玉だけが 入った 袋から 玉を 2個 取り出す とき、少なくとも 1個は 赤玉を 取り出す 確率は $\frac{7}{9}$ です。
2個とも 白玉を 取り出す 確率を 求める。 確率 **$\frac{2}{9}$**

(2) 大小 2つの さいころを 投げる とき、目の 和が 9に ならない 確率は $\frac{8}{9}$ です。
目の 和が 9に なる 確率を 求める。 確率 **$\frac{1}{9}$**

(3) ある チームが 試合に 勝つ 確率は $\frac{5}{12}$ で、引き分けは ありません。
負ける 確率を 求める。 確率 **$\frac{7}{12}$**

大問3 重なる 事柄

(1) 大小 2つの さいころを 投げる。
少なくとも 一方は 3の 倍数の 目が 出る 確率を 求める。 確率 **$\frac{5}{9}$**

(2) 大小 2つの さいころを 投げる。
少なくとも 一方は 3の 目が 出る 確率を 求める。 確率 **$\frac{11}{36}$**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 全部の 数・反対の 数は (1) 15・3、(2) 15・10、(3) 21・6。確率は (1) $\frac{4}{5}$ (2) $\frac{1}{3}$ (3) $\frac{5}{7}$（約分した 分数）。

大問2 (1) 反対の 事柄は「2個とも 白玉」。$1-\frac{7}{9}=\frac{2}{9}$。(2) $1-\frac{8}{9}=\frac{1}{9}$。(3) $1-\frac{5}{12}=\frac{7}{12}$。

大問3 (1) 3の 倍数が 1つも 出ない 組は 16通り。$1-\frac{16}{36}=\frac{5}{9}$（$\frac{1}{3}+\frac{1}{3}=\frac{2}{3}$ は ×）。(2) 3が 1つも 出ない 組は 25通り。$1-\frac{25}{36}=\frac{11}{36}$。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は ×）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。